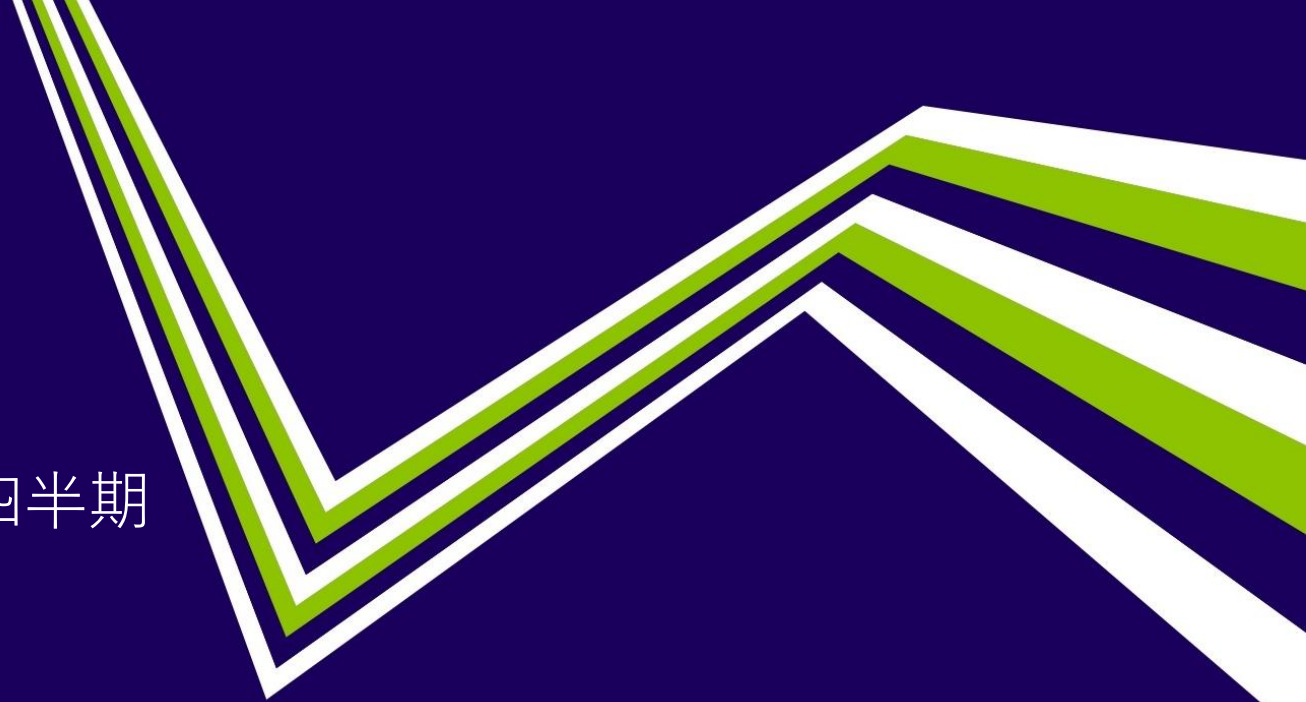




2024年12月期第2四半期 決算説明会資料

2024年8月9日

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
経営企画部 IR推進室

1. 2024年12月期第2四半期決算	P.4～
2. 2024年12月期 業績予想	P.16～
3. 経営計画2028 取り組み状況	P.22～
4. 株主還元	P.29～

2024年12月期第2四半期決算 エグゼクティブサマリー

2024年12月期 第2四半期実績

	実績	前年同期比
➡ 売上収益	12,498 億円	+1,180 億円 +10.4 %
➡ 連結セグメント利益 (事業利益)	255億円	△167 億円 △39.6 %
事業利益率	2.0%	
➡ 営業利益	192億円	△211 億円 △52.4%
➡ 親会社の所有者 に帰属する当期利益	114億円	△140 億円 △55.0 %

* ➡ は+5%以上の増加、➡ は-5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

- ✓ グローバルの物流需要に底打ち感はあるながら、2Qにおいては漸く回復傾向が見られた。加えて、CP社が加わったことにより増収となった。
- ✓ 一方、海外発海上輸送を除く、フォワーディング事業における粗利単価の低下や感染症関連物資の取扱い減少、人件費等のコスト増加の影響が大きく、事業利益以下の各利益は減益となった。
- ✓ 営業利益の対前同減少額が大きくなるのは、1Qにおいて特別積合せ事業の統合に伴う減損損失を計上したことが主な要因となった。

2024年12月期業績予想 エグゼクティブサマリー

2024年12月期 業績予想

	今回予想	前年比
➡ 売上収益	25,700 億円	+3,309 億円 +14.8 %
↘ 連結セグメント利益 (事業利益)	700 億円	△112 億円 △13.9 %
事業利益率	2.7%	-
➡ 営業利益	650 億円	+49 億円 +8.2 %
➡ 親会社の所有者 に帰属する当期利益	400 億円	+29 億円 +8.0 %
ROE	4.9%	+0.1 pt
ROIC (税引前事業利益)	4.5%	-1.1 pt

* ➡ は+5%以上の増加、↘ は-5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

- ✓現時点での状況、見通しを総合的に勘案した結果、売上収益を上方、営業利益以下の各利益を下方修正することとした。
- ✓物流需要に回復が見られる中、6月にはフォワーディング事業の収益性が持ち直し、7月以降も収益性は回復してきている。
- ✓一方、国内物流は需要の回復が弱く、当面は低調な推移が見込まれることから、日本セグメントの修正額が大きくなった。

1. 2024年12月期第2四半期決算

2. 2024年12月期 業績予想

3. 経営計画2028 取り組み状況

4. 株主還元

A. 2024年12月期第2四半期決算 概要	P.5-
B.売上収益・営業利益増減内訳	P.7-
C. 第2四半期 対 第1四半期	P.9-
D.航空フォーワーディング粗利益動向	P.11-
E.海上フォーワーディング粗利益動向	P.13
F.（参考情報）事業別収支	P.14-

1-A. 2024年12月期第2四半期決算 概要

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	今期実績 (2024年 1～6月)	前年実績 (2023年 1～6月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	上期予想 (5/13発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
売上収益	12,498	11,318	1,180	10.4	12,000	498	4.2
連結セグメント利益 (事業利益)	255	422	△167	△39.6	350	△94	△27.1
事業利益率	2.0	3.7	-	-	2.9	-	-
営業利益	192	403	△211	△52.4	340	△147	△43.5
親会社の所有者に帰属する 当期利益	114	254	△140	△55.0	230	△115	△50.3

【参考】 cargo-partner 1～6月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益1,273億円、事業利益5億円

1-A. 2024年12月期第2四半期決算 概要

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

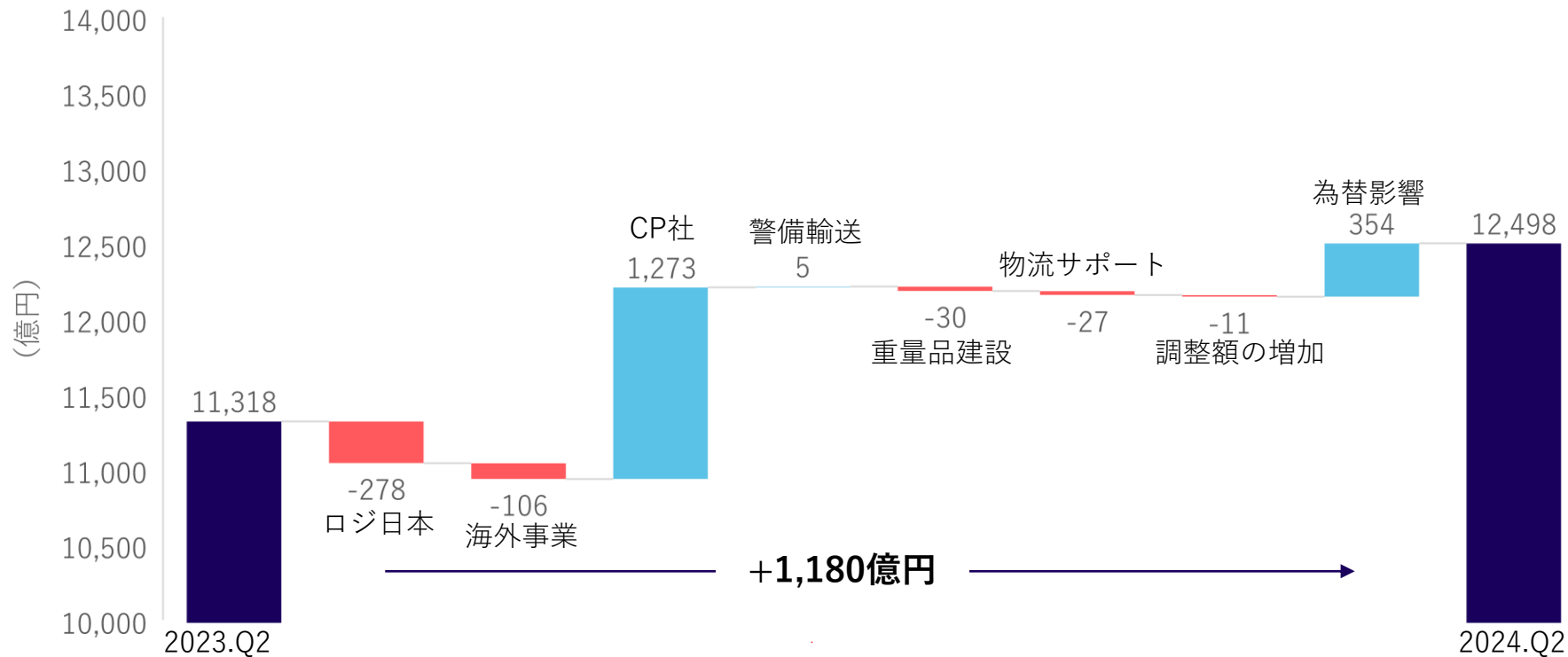
セグメント	項目	今期実績 (2024年 1月～6月)	前年実績 (2023年 1月～6月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	上期予想 (5/13発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
日本	売上収益	6,124	6,402	△278	△4.3	5,930	194	3.3
	セグメント利益（事業利益）	155	231	△76	△32.8	190	△34	△18.0
米州	売上収益	783	740	43	5.8	750	33	4.5
	セグメント利益（事業利益）	26	52	△25	△49.2	35	△8	△23.5
欧州	売上収益	2,373	943	1,430	151.5	2,130	243	11.5
	セグメント利益（事業利益）	51	49	2	4.7	65	△13	△20.3
東アジア	売上収益	817	773	43	5.7	750	67	9.0
	セグメント利益（事業利益）	13	25	△12	△47.3	20	△6	△31.5
南アジア・オセアニア	売上収益	724	719	4	0.7	710	14	2.0
	セグメント利益（事業利益）	20	49	△28	△58.6	30	△9	△32.3
海外セグメント合計	売上収益	4,699	3,178	1,521	47.9	4,340	359	8.3
	セグメント利益（事業利益）	112	177	△64	△36.5	150	△37	△24.9
警備輸送	売上収益	344	338	5	1.8	340	4	1.4
	セグメント利益（事業利益）	17	17	△0	△0.9	15	2	13.7
重量品建設	売上収益	228	258	△30	△11.7	230	△1	△0.7
	セグメント利益（事業利益）	16	30	△13	△45.2	25	△8	△34.2
物流サポート	売上収益	2,063	2,090	△27	△1.3	2,200	△136	△6.2
	セグメント利益（事業利益）	52	65	△12	△19.2	70	△17	△24.7

【参考】 cargo-partner 1～6月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益1,273億円、事業利益5億円

1-B.売上収益・営業利益増減内訳

売上収益

✓ CP社の連結化および円安による増収が大きい一方、ロジスティクス事業は減収が継続。



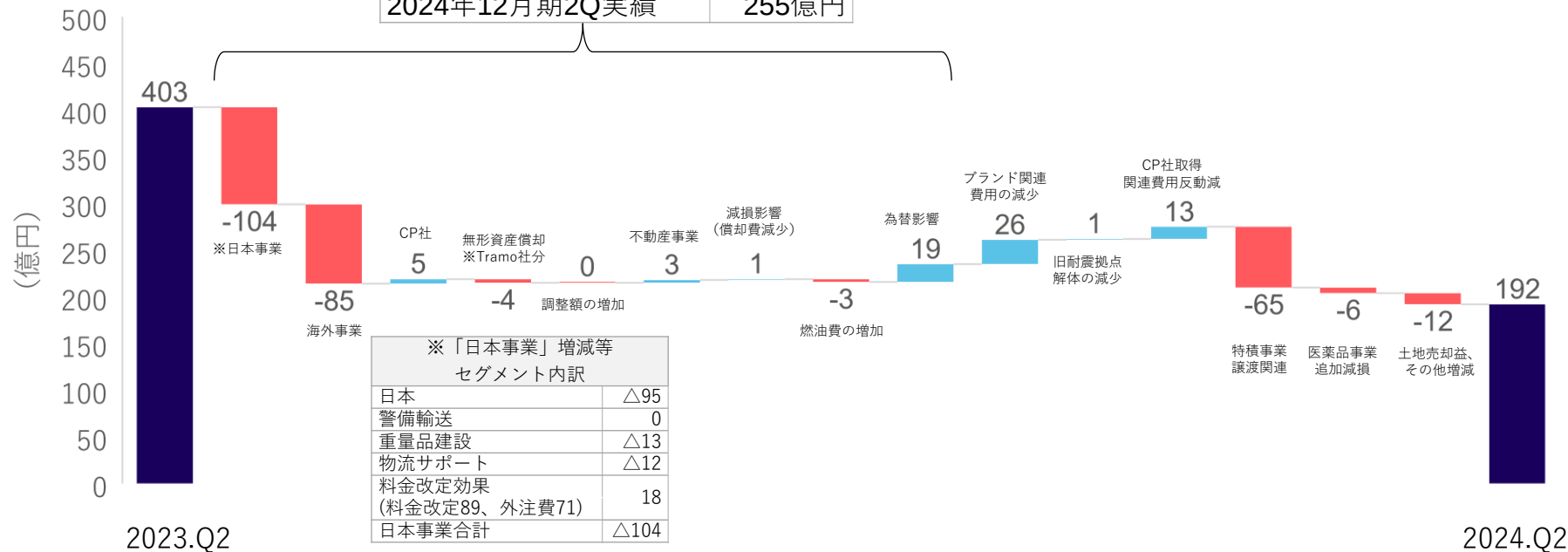
1-B.売上収益・営業利益増減内訳

営業利益

- ✓ 国際FWD事業の単位あたり粗利の低下等により、ロジ事業は日本・海外ともに減益。
- ✓ 1Qにおいて、特積事業の譲渡に伴う減損損失（65億円）を計上。

事業利益△167億円

事業利益	
2023年12月期2Q実績	422億円
2024年12月期2Q実績	255億円



1-C. 2024年12月期第2四半期決算 第2四半期 対 第1四半期

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	2024年 2 Q実績	2024年 1Q実績	増減額	増減率
売上収益	6,322	6,176	146	2.4
連結セグメント利益 (事業利益)	136	118	17	15.0
事業利益率	2.2	1.9	-	-
営業利益	157	34	122	353.2
親会社の所有者に帰属する 当期利益	106	8	97	1,191.4

1-C. 2024年12月期第2四半期決算 第2四半期 対 第1四半期（セグメント別）

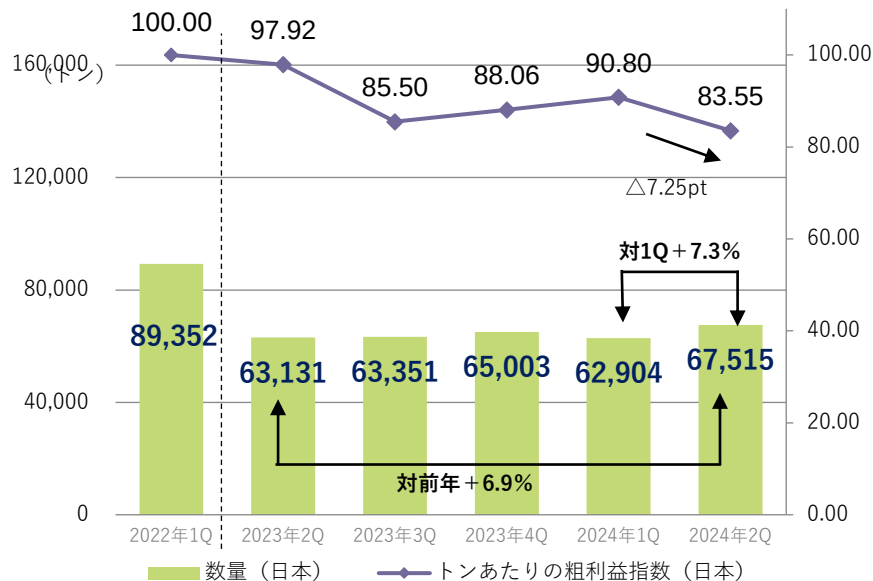
（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

セグメント	項目	2024年 2 Q実績	2024年 1Q実績	増減額	増減率
日本	売上収益	3,069	3,054	14	0.5
	セグメント利益（事業利益）	92	63	29	45.9
米州	売上収益	413	370	43	11.8
	セグメント利益（事業利益）	16	10	5	52.7
欧州	売上収益	1,244	1,129	115	10.2
	セグメント利益（事業利益）	20	31	△11	△35.4
東アジア	売上収益	444	373	70	18.9
	セグメント利益（事業利益）	9	4	4	105.6
南アジア・オセアニア	売上収益	377	347	29	8.6
	セグメント利益（事業利益）	10	10	0	2.8
海外セグメント合計	売上収益	2,479	2,220	259	11.7
	セグメント利益（事業利益）	56	56	△0	△0.9
警備輸送	売上収益	168	176	△7	△4.1
	セグメント利益（事業利益）	3	13	△10	△76.0
重量品建設	売上収益	122	106	16	15.2
	セグメント利益（事業利益）	8	7	0	12.6
物流サポート	売上収益	983	1,079	△96	△8.9
	セグメント利益（事業利益）	28	24	4	18.5

1-D.航空フォワーディング粗利益動向 日本セグメント

- ✓ 航空運賃が上昇の中で、取扱い数量の増加に伴う、スポットでのスペース買い増しにより、トンあたりの差益は7.25ポイント低下。

航空輸出数量と単位あたりの粗利益推移

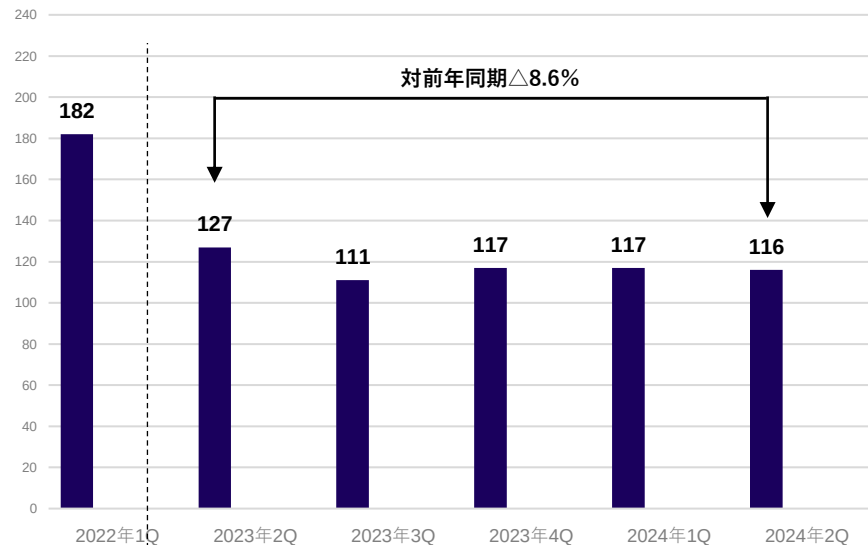


※ 2022年第1四半期のトンあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。（2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）

※ 2024年2Q粗利指数：数値訂正（正）83.55（訂正前）82.94

※ 前四半期比較の粗利益推移差分：数値訂正（正）△7.25pt（訂正前）△7.9pt

航空フォワーディング粗利益額 単位：億円



※ 航空フォワーディング粗利益額：「航空輸出売上高」から「航空利用費（国際）」を除いた額

※ 2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）

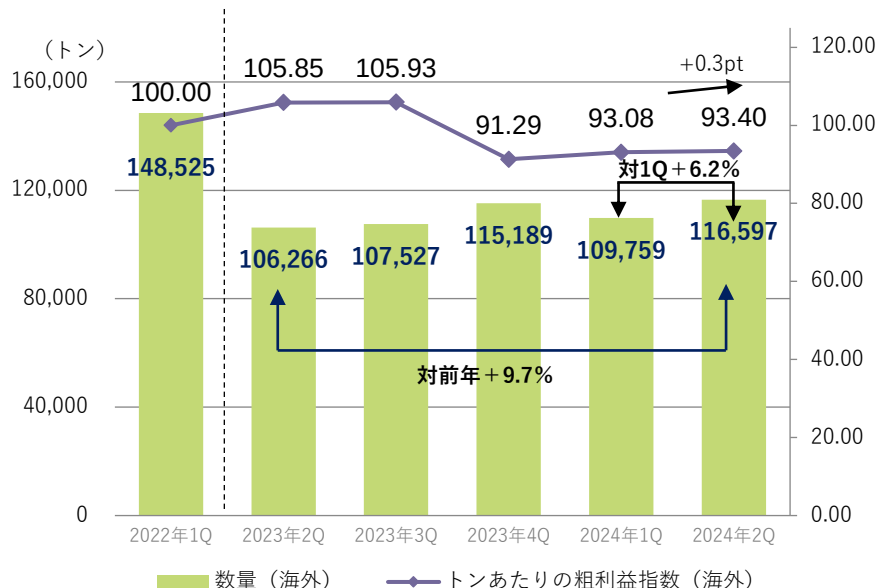
※ 2024年2Q粗利指数：数値訂正（正）116（訂正前）115

※ 粗利益額対前年同期：数値訂正（正）△8.6%（訂正前）△9.4%

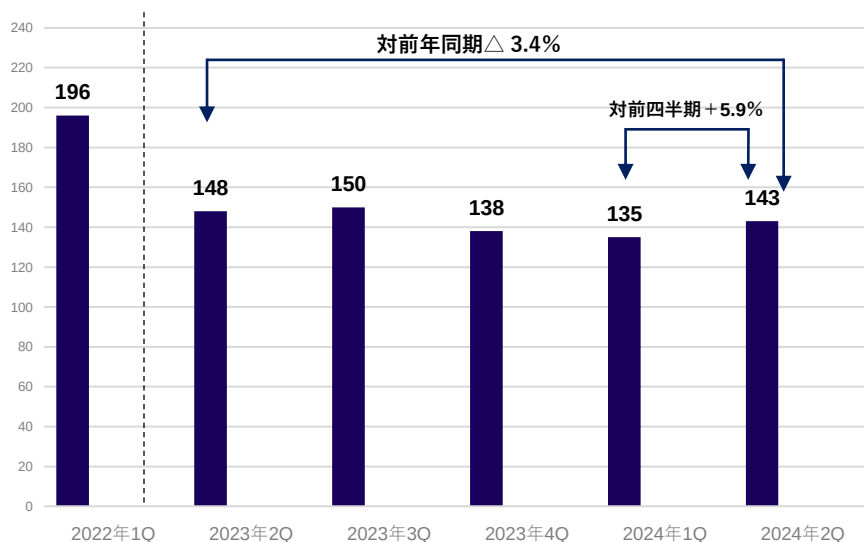
1-D.航空フォワーディング粗利益動向 海外セグメント

✓ 全体のトンあたりの粗利は1Qと同水準で推移し、0.3ポイント改善。

航空輸出数量と単位あたりの粗利益推移



航空フォワーディング粗利益額 単位：億円



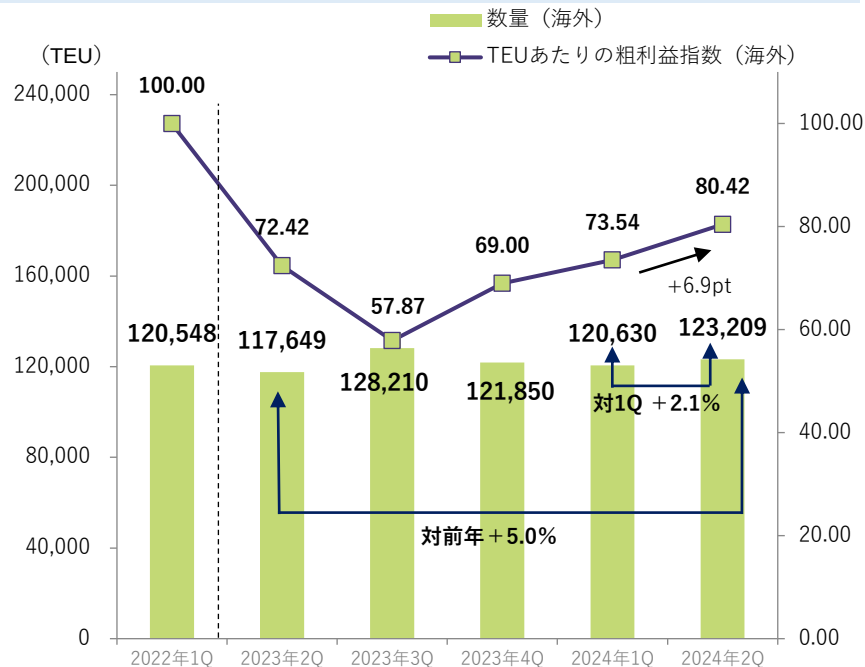
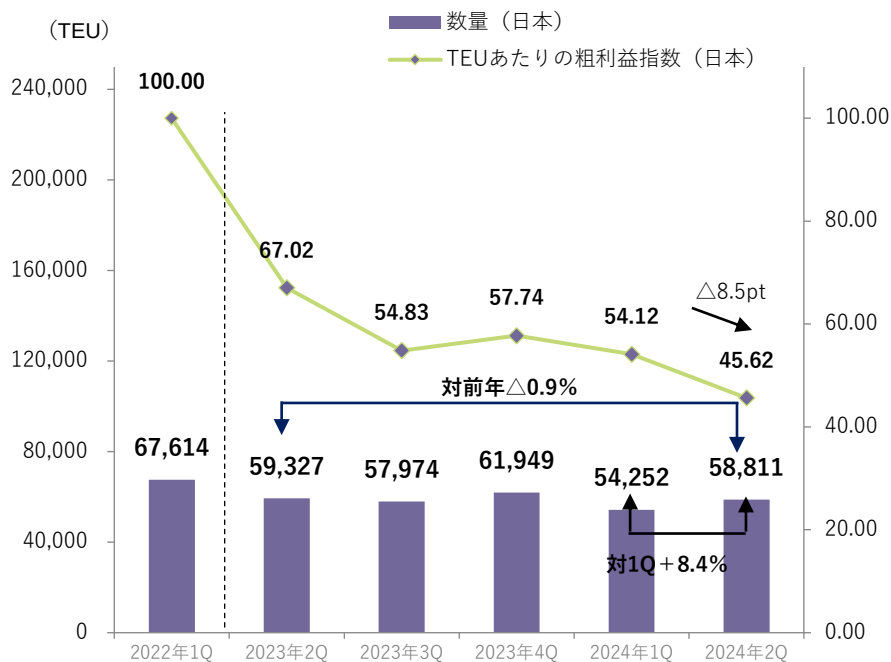
※航空フォワーディング粗利益額：「航空輸出売上高」から「航空利用費（国際）」を除いた額

※ 2022年第1四半期のトンあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。（2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）

※各四半期の平均為替レートで円貨に換算し計算。 ※cargo-partner社の実績は除いて計算。

1-E.海上フォワーディング粗利益動向 日本／海外

- ✓ 日本発について、5月の急激な海上運賃の高騰により、価格転嫁のタイムラグが生じたことにより、TEUあたり粗利は8.5ポイント低下
- ✓ 運賃上昇トレンドの中、海外発のTEUあたり粗利は6.9ポイント上昇



※ 2022年第1四半期のTEUあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。（2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）
※ 海外セグメント計は各四半期の平均為替レートで円貨に換算し計算。 ※ 数量はNVOCC以外の取扱いも含む。 ※ cargo-partner社の実績は除いて計算。
※ 2024年第1四半期より日本発海上フォワーディング数量のカウント方法を変更しています。
※ 2024年6月よりNVOCC日本発の単位あたりの粗利益の集計について、抽出の手法を一部見直しました。

1-F.（参考情報）事業別収支

（単位：億円）（億円未満切捨て）

セグメント			1 Q	2 Q	2 Q累計	2 Q 対 1 Q	
ロジ 日本	航空FWD	売上高	447	444	891	▲ 3	
		営業利益	30	17	48	▲ 13	
	海運FWD	売上高	398	442	841	43	
		営業利益	30	44	74	14	
	ロジスティクス	売上高	2,454	2,336	4,791	▲ 117	
		営業利益	82	52	135	▲ 30	
	その他 （本社組織,不動産等）	売上高	25	38	64	12	
		営業利益	▲ 68	▲ 73	▲ 141	▲ 4	
	組織別実績計（日本基準）		売上高	3,327	3,262	6,589	▲ 64
			営業利益	74	41	116	▲ 33
連結決算数値（IFRS基準）		売上収益	3,054	3,069	6,124	14	
		セグメント利益	63	92	155	29	
ロジ 海外	航空FWD	売上高	547	628	1,176	80	
		営業利益	28	29	58	0	
	海運FWD	売上高	362	410	773	48	
		営業利益	11	17	28	6	
	ロジスティクス	売上高	741	788	1,530	46	
		営業利益	48	50	99	2	
	その他（本社組織等）	売上高	51	51	102	0	
		営業利益	▲ 46	▲ 45	▲ 92	0	
	Cargo Partner社	売上高	770	916	1,687	146	
		営業利益	1	5	6	3	
	組織別実績計（各国基準）		売上高	2,474	2,796	5,271	322
			営業利益	43	56	100	12
連結決算数値（IFRS基準）		売上収益	2,220	2,479	4,699	259	
		セグメント利益	56	56	112	0	
ロジ 計（各国基準）		売上高	5,801	6,058	11,860	257	
		営業利益	118	98	216	▲ 20	
連結決算数値（IFRS基準）		売上収益	5,275	5,549	10,824	274	
		セグメント利益	119	148	268	28	

四半期トレンド分析（ロジ日本）

航空：航空輸出の取扱い数量は増加するも、粗利単価は1Qから7.9ポイント低下し、外注費と人件費の増加により利益は減少した。輸入は精密機器関連の取扱いが低調で数量は1Qから減少し、全体では減益となった。

海運：海上輸出の取扱い数量は増加するも、日本通運のNVOCC粗利単価は1Qから8.5ポイント低下したため、粗利利益は減少した。一方で、2Qは海外引越の取扱いが増加したことから増収・増益となった。

ロジ：人件費の増加や引越ピークシーズンの反動減に加え、料金改定が拡大する一方、外注費の増加により効果が縮小したこと等から減益となった。

ロジ日本：63億円の増益予想に対して、34億円の下振れとなった。

四半期トレンド分析（ロジ海外）

航空：航空輸出の粗利単価は1Q並みで推移し、取扱い数量が増加したことから、粗利益は1Qから改善したが、外注費の増加等（米州発生鮮の取扱い）により営業利益は1Q並みとなった。

海運：NVOCC単価は1Qから6.9ポイント改善し、取扱い数量が増加したことから、海運輸出は増益となり、海運輸入も堅調に推移したため全体で増益となった。

ロジ：米州ではアパレルや自動車関連等の倉庫配送業務の取扱いが好調に推移したことから増益となり、欧州では電機・電子部品関連の消耗品の荷動きが低調で減益となった。

その他、東・南アジアは1Q並みで推移した。

C P：航空輸出は、中国発のeコマースの取扱いが伸長し、海上輸出は欧州（東欧向け）の取扱いが堅調に推移した。倉庫配送は英国の新拠点の開設等により、全体で増収・増益となった。

ロジ海外：36億円の増益予想に対して、37億円の下振れとなった。

※当資料の作成注記については、次ページ（P15）に記載しております。

1-F.（参考情報）事業別収支

セグメント			1Q	2Q	2Q累計	2Q対1Q
米州	航空FWD	売上高	99	112	212	13
		営業利益	2	3	6	1
	海運FWD	売上高	72	81	154	9
		営業利益	1	2	3	1
	ロジスティクス	売上高	217	229	447	12
		営業利益	7	11	18	4
	その他（本社組織等）	売上高	0	0	0	▲0
		営業利益	▲1	▲2	▲4	▲0
		売上高	389	424	814	35
		営業利益	8	15	23	6
欧州	航空FWD	売上高	158	167	326	8
		営業利益	5	3	8	▲1
	海運FWD	売上高	95	100	195	5
		営業利益	▲4	▲3	▲7	1
	ロジスティクス	売上高	280	300	581	19
		営業利益	28	24	52	▲3
	その他（本社組織等）	売上高	39	39	78	▲0
		営業利益	▲7	▲4	▲11	2
		売上高	574	607	1,181	33
		営業利益	21	20	41	▲1

◆作成注記

※当資料は当社グループ各法人もしくは店所単位で、その主たる取扱い（航空・海運・ロジスティクス・その他）に応じて区分、集計したもの。
※ロジ日本の「ロジスティクス」には国内航空および内航海運を含んでいる。
※店所単位で共通費用等について簡便な方法で費用案分を行っている場合もあるが、それらについて詳細な修正を行っていない。

（単位：億円）（億円未満切捨て）

セグメント			1Q	2Q	2Q累計	2Q対1Q
東アジア	航空FWD	売上高	148	184	333	36
		営業利益	8	9	18	1
	海運FWD	売上高	104	132	236	27
		営業利益	4	6	11	2
	ロジスティクス	売上高	131	141	272	10
		営業利益	5	6	12	1
	その他（本社組織等）	売上高	0	0	0	0
		営業利益	▲15	▲15	▲30	0
		売上高	384	458	843	74
		営業利益	2	8	10	5
南アジア・オセアニア	航空FWD	売上高	140	163	303	22
		営業利益	12	12	25	▲0
	海運FWD	売上高	90	96	187	5
		営業利益	9	11	20	1
	ロジスティクス	売上高	112	116	229	3
		営業利益	7	7	15	0
	その他（本社組織等）	売上高	11	12	23	0
		営業利益	▲21	▲23	▲45	▲1
		売上高	355	388	744	32
		営業利益	8	7	16	▲0
Cargo Partner社		売上高	770	916	1,687	146
		営業利益	1	5	6	3
ロジ海外 計		売上高	2,474	2,796	5,271	322
		営業利益	43	56	100	12

1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.2024年12月期業績予想	P.17-
B.売上収益・営業利益増減内訳	P.19-
C.（対前回予想）事業利益増減内訳	P.21

2-A. 2024年12月期業績予想 通期予想

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	上期実績	下期予想	通期予想	前年 通期実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回通期 予想 (5/13発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
売上収益	12,498	13,201	25,700	22,390	3,309	14.8	25,000	700	2.8
セグメント利益 (事業利益)	255	444	700	812	△112	△13.9	850	△150	△17.6
事業利益率	2.0	3.4	2.7	3.6	-	-	3.4	-	-
営業利益	192	457	650	600	49	8.2	820	△170	△20.7
親会社の所有者に帰する 当期利益	114	285	400	370	29	8.0	550	△150	△27.3
海外売上収益	4,699	5,170	9,870	6,424	3,445	53.6	8,960	910	10.2
ROE	-	-	4.9	4.8	-	-	6.7	-	-
ROIC (税引前事業利益)	-	-	4.5	5.6	-	-	5.6	-	-

【参考】cargo-partner通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,577億円、事業利益18億円（無形資産償却（約30億円、4Q計上予定）を除く）

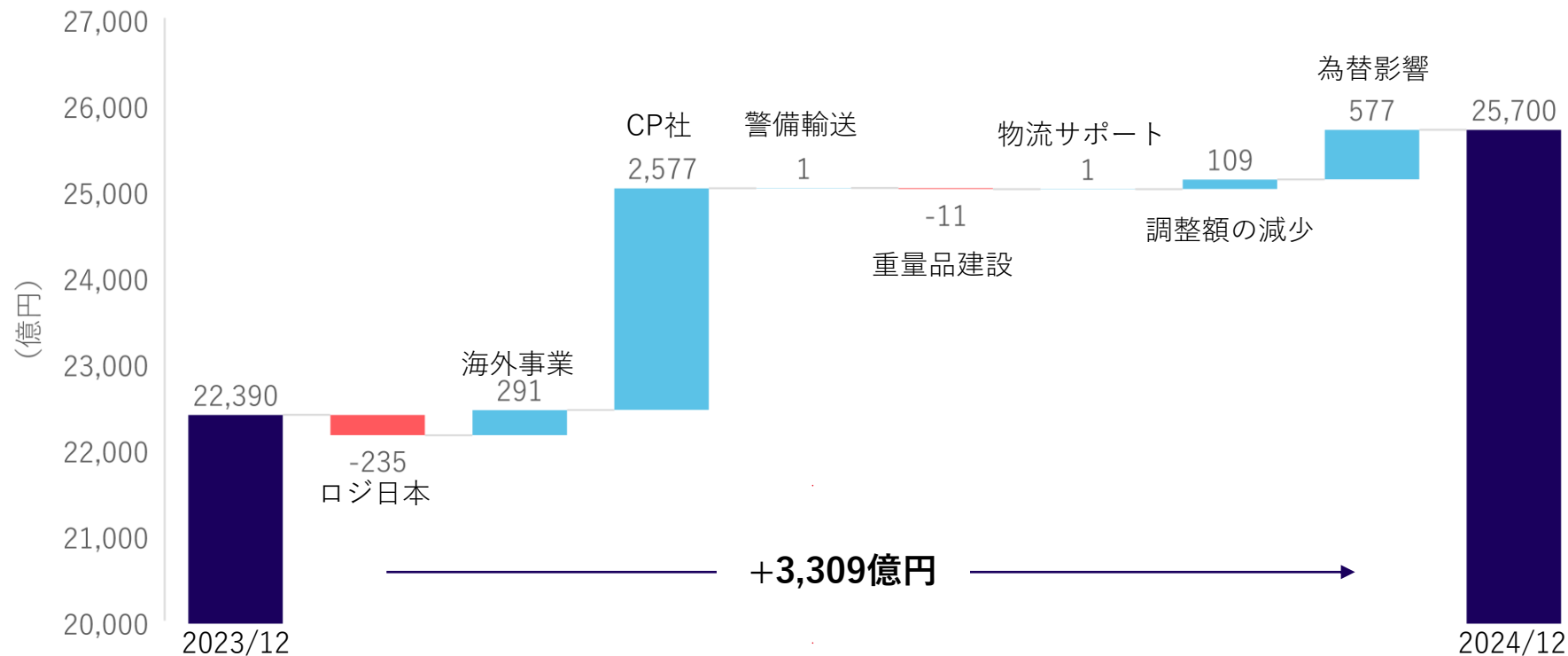
2-A. 2024年12月期業績予想 セグメント別

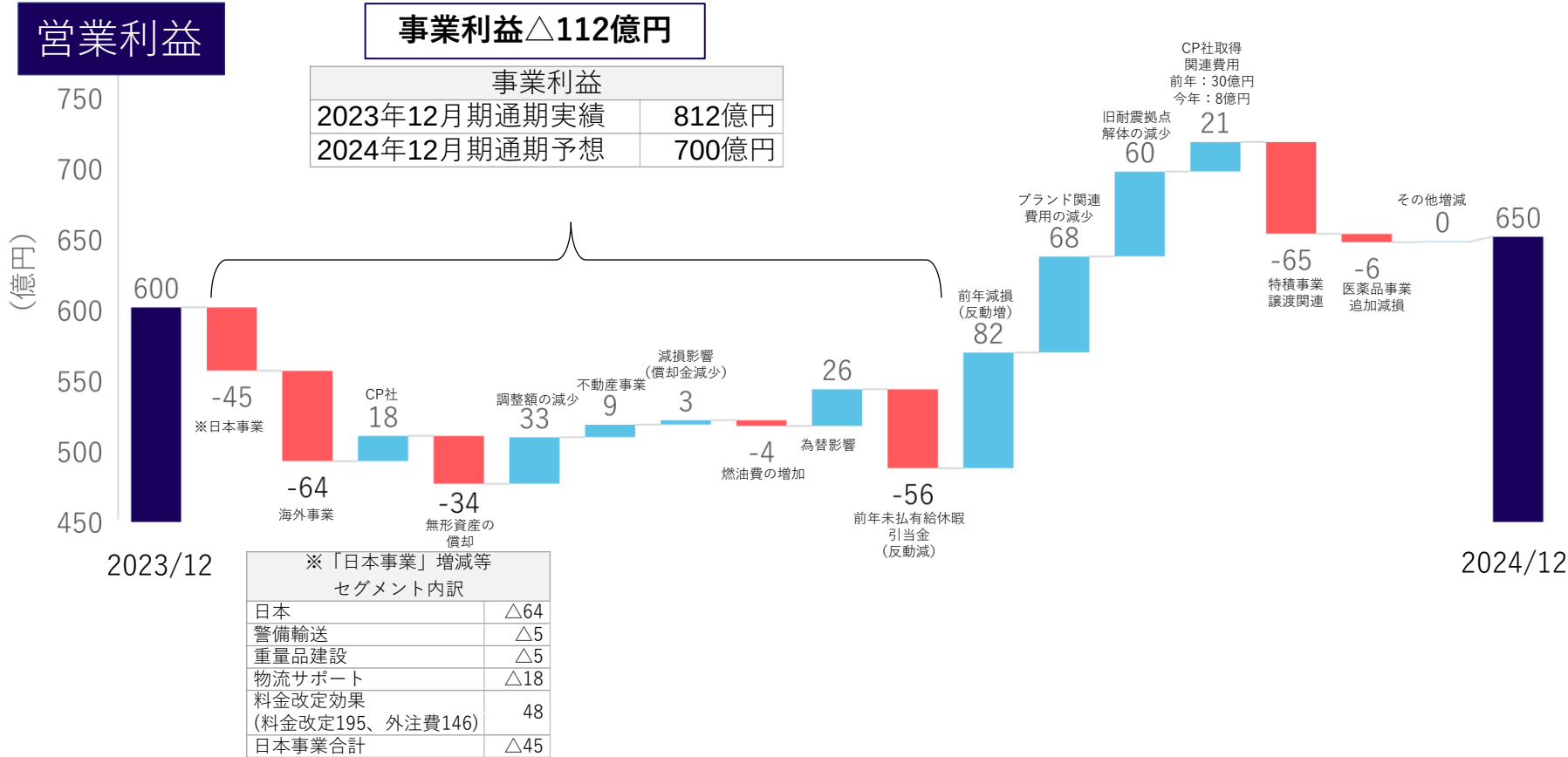
(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

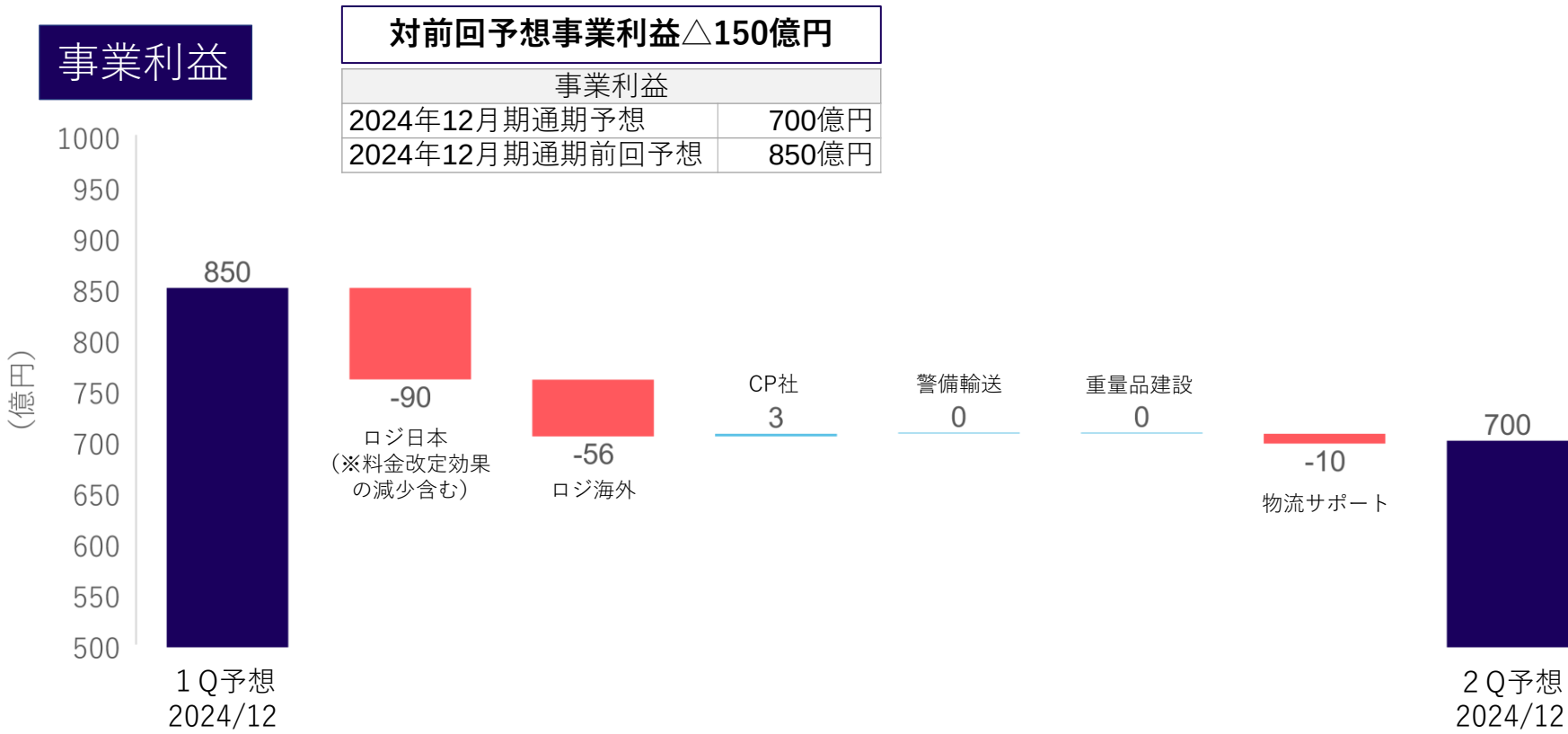
セグメント	項目	通期予想	前年実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回予想 (5/13発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
日本	売上収益	12,330	12,565	△235	△1.9	12,130	200	1.6
	セグメント利益 (事業利益)	420	485	△65	△13.5	510	△90	△17.6
米州	売上収益	1,640	1,512	127	8.4	1,530	110	7.2
	セグメント利益 (事業利益)	75	92	△17	△19.0	80	△5	△6.3
欧州	売上収益	4,780	1,926	2,853	148.1	4,320	460	10.6
	セグメント利益 (事業利益)	85	98	△13	△13.7	100	△15	△15.0
東アジア	売上収益	1,850	1,576	273	17.3	1,610	240	14.9
	セグメント利益 (事業利益)	35	37	△2	△7.0	50	△15	△30.0
南アジア・オセアニア	売上収益	1,600	1,408	191	13.6	1,500	100	6.7
	セグメント利益 (事業利益)	65	83	△18	△22.1	80	△15	△18.8
海外セグメント合計	売上収益	9,870	6,424	3,445	53.6	8,960	910	10.2
	セグメント利益 (事業利益)	260	312	△52	△16.7	310	△50	△16.1
警備輸送	売上収益	680	678	1	0.2	680	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	30	33	△3	△11.4	30	-	-
重量品建設	売上収益	500	511	△11	△2.2	500	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	60	65	△5	△8.0	60	-	-
物流サポート	売上収益	4,260	4,258	1	0.0	4,450	△190	△4.3
	セグメント利益 (事業利益)	120	138	△18	△13.3	130	△10	△7.7

【参考】 cargo-partner通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,577億円、事業利益18億円（無形資産償却（約30億円、4 Q計上予定）を除く）

売上収益







1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.経営計画2028 基本方針	P.23
B.グローバル事業の成長：重点産業	P.24
C.グローバル事業の成長：主なKPI・施策	P.25
D.日本事業の再構築	P.26
E. 経営計画2028 KPIおよび取り組み状況 サステナビリティ戦略	P.27
F.経営計画達成に向けた主な取り組み	P.28

3-A.経営計画2028 基本方針

経営計画2028における基本方針・重要戦略

基本 方針

- グループ全体最適志向の下、グローバルな競争力の向上と事業の成長を実現する。
- 明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、事業の競争力・収益性を高め、企業価値を高める。
- 社会課題解決や持続可能社会の実現へ貢献するサステナビリティ経営を実践し、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革する。

売上 収益

FY2023 22,390億円
FY2028 30,000億円

事業 利益

FY2023 812億円
FY2028 1,500億円

ROE

FY2023 4.8%
FY2028 10%以上

グローバル市場での
事業成長の加速

日本事業の再構築

海外 売上

FY2023 5,855億円
FY2028 12,000億円
M&A 3,700億円

サステナビリティ
経営の推進

事業 利益率

FY2023 3.9%
FY2028 5.9%
(ロジスティクス日本)

3-B. グローバル事業の成長 重点産業

(億円未満切捨て)

重点産業	2024年 1月～6月 実績	2024年目標	対目標進捗率	2028年目標
テクノロジー 基盤領域：電機電子 成長、挑戦領域：産業用機械	1,477 億円	3,295 億円	44.8 %	4,000 億円
モビリティ 基盤領域：自動車 成長、挑戦領域：建機、農機、鉄道、航空機	1,268 億円	2,260 億円	56.1 %	2,600 億円
ライフスタイル 基盤領域：アパレル 成長、挑戦領域：家具、装飾品、コスメティクス	732 億円	1,295 億円	56.6 %	1,600 億円
ヘルスケア 成長、挑戦領域：医薬品、医療機器	509 億円	945 億円	53.8 %	1,300 億円
半導体 成長、挑戦領域：半導体	269億円	516 億円	52.2 %	1,000 億円

※実績：日本通運(株)、海外4リージョン合計（CP社、Tramo社は除く）
※半導体2024年1月～6月実績：数値修正（正）269億円（訂正前）260億円
※半導体対目標進捗率：数値修正（正）52.2%（訂正前）50.4%

3-C.グローバル事業の成長 主なKPI・施策

フォワーディングの拡販	2024年 1月～6月実績	2023年 1月～6月実績	前年対比増減率	2028年目標
航空フォワーディング数量	44.2万 t	34.2万 t	29.2%	130万 t
海運フォワーディング数量	44.0万TEU	35.0万TEU	25.7%	140万TEU

※フォワーディングの拡販実績（2023年1月～6月）にはCP社は含まない。

※CP社含まない前年対比増減率：航空フォワーディング+4.2%
海運フォワーディング+1.8 %

※フォワーディングの拡販実績 航空フォワーディング 前年対比増減率：数値訂正（正）29.2%（訂正前）36.4%

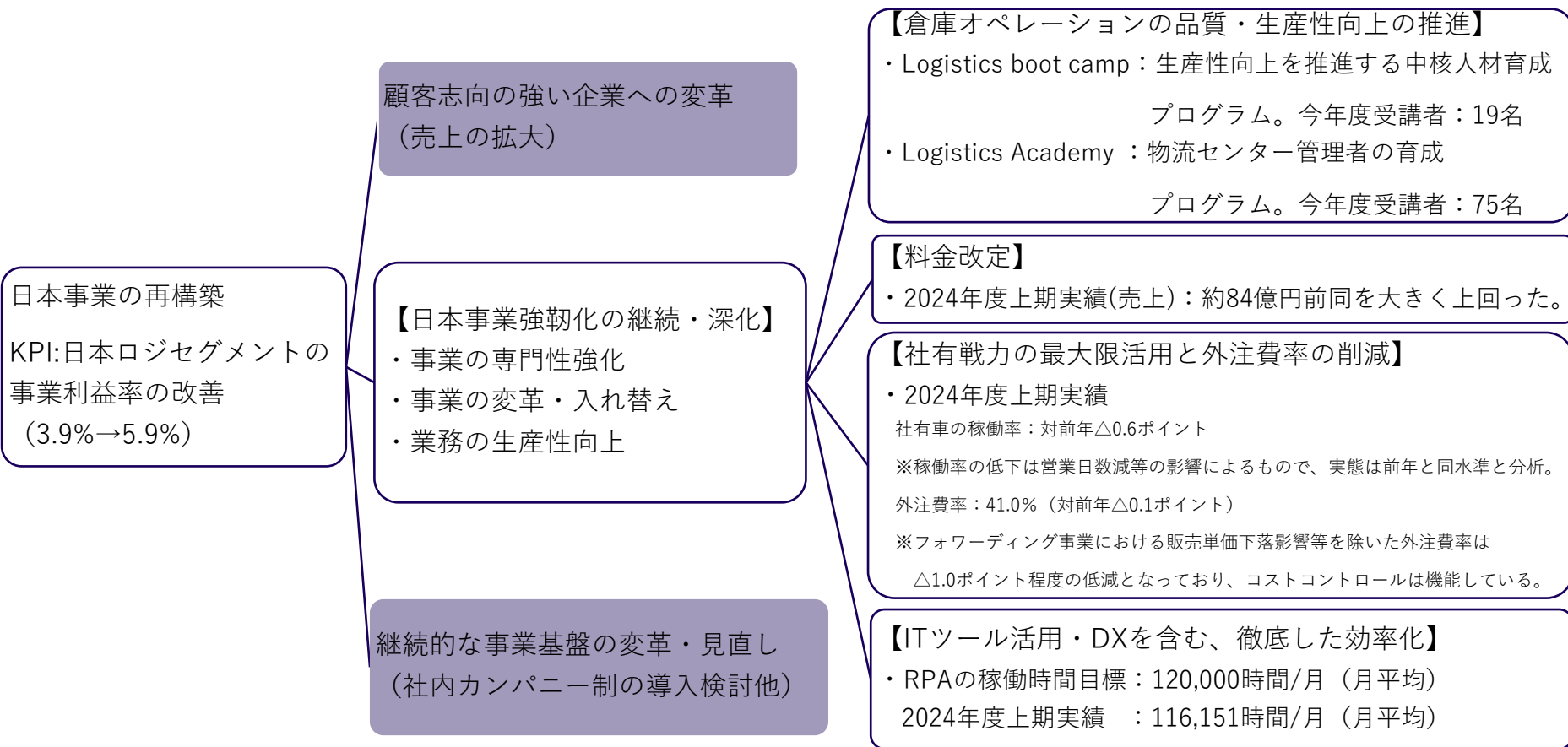
（内数）cargo-partner社	2024年 1月～6月実績	2023年 1月～6月実績 （参考値）	前年対比増減率
航空フォワーディング数量	8.5万 t	6.3万 t	35.2%
海運フォワーディング数量	8.4万TEU	8.2万TEU	1.4%

（億円未満切捨て）

ロジスティクスソリューションの提供強化	2024年 1月～6月実績	2023年 1月～6月実績	前年対比増減率	2028年目標
倉庫・配送等売上	2,299億円	2,233億円	3.0%	5,900億円

※倉庫配送等売上にはCP社は含まない。

3-D. 日本事業の再構築



3-E. 経営計画2028 KPIおよび取り組み状況 サステナビリティ戦略

イノベーションを生む人財力の向上

KPI	2023年実績	2024年上期実績	2024年目標	2028年目標
ポスキャリアによる配置数 (ポスト数)	35ポスト	60ポスト	120ポスト以上	120ポスト以上
グローバル人材育成研修の 参加者数	883名	575名	1,000名以上	1,000名以上
男性育休取得率※1	34.6%	48.7%	50.0%以上	70.0%以上
女性管理職比率※1	3.05%	3.24%	4.0%以上	8.0%以上
障がい者雇用率※2	2.34%	2.47%	2.5%以上	2.7%以上

※1 日本国内主要6社

※2 NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社および、グループ適用認定会社の合算値（障害者雇用促進法に基づいて算出）

3-F. 経営計画達成に向けた主な取り組み

■グローバル市場での事業成長の加速

- ・ アカウントマネジメントを起点としたEnd to Endソリューションの拡大
- ・ cargo-partner社へのPMI実施
- ・ インド市場での存在感の確立

■日本事業の再構築

- ・ 社内カンパニー制の導入検討
- ・ 重量品建設事業の分社化（会社分割）

1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

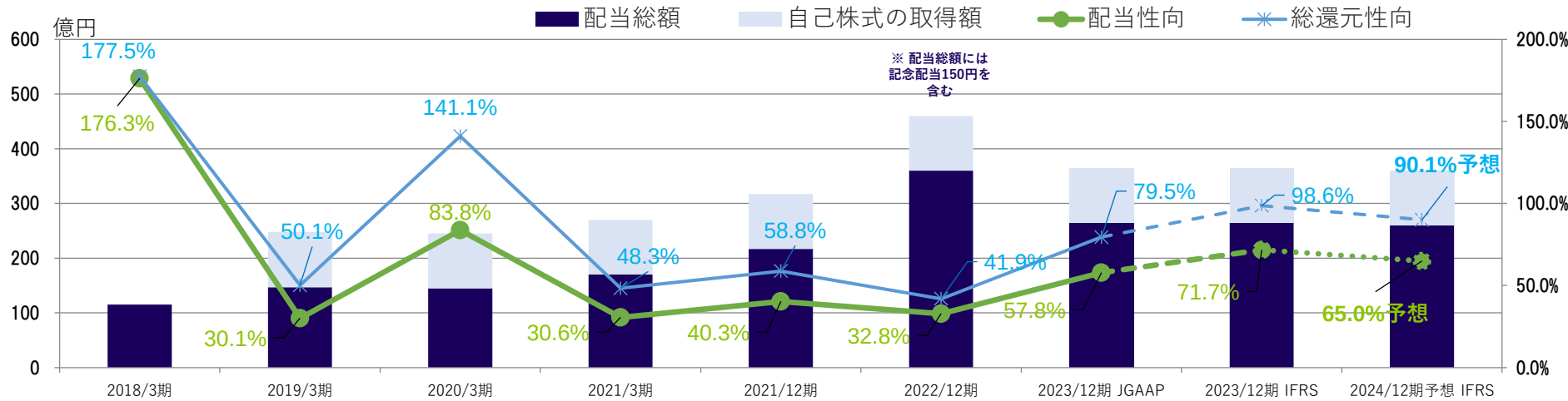
資本政策・各種実績推移

P.30

4. 資本政策・各種実績推移

経営計画2028
目標数値

- ROE 10%以上
- 総還元性向 55%以上（2024～2028年度累計）
- 配当性向 40%以上
- 自己資本比率 35%程度



1株あたり配当額（年間）	120	155	155	185	240	400 （記念配当150円含む）	300	300
ROE	1.2 （日本基準）	9.2 （日本基準）	3.2 （日本基準）	10.0 （日本基準）	8.9 （日本基準）	15.9 （日本基準）	5.9/4.8 （日本基準/IFRS）	4.9 （IFRS基準）

※ IFRS基準でのROEと日本基準の差異は、IFRSでは有価証券売却益がPL非計上となることが主な要因です。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。